

2005年6月13日  
ウッドマイルズ研究会

## ウッドマイルズ研究会第二回総会の開催結果について 建築物をウッドマイルズで評価するマニュアルを公表

ウッドマイルズ研究会（岐阜県立森林文化アカデミー熊崎実会長）の第二回総会が6月11日京都市内において開催され、二年がかりで検討してきた「建築物ウッドマイルズ関連指標算出マニュアル」を正式に公開するとともに、これの普及をはかるための地域材セミナーの開催、ウッドマイルズ技術者講習会の開催などを含む2005（平成17）年度の事業計画を決めました。

建築物ウッドマイルズ関連指標算出マニュアルは「建築物に使用される木材の輸送距離を短縮し、輸送エネルギーの削減や地域材需要の活性化を目指すため、建築物に使用される木材の量と輸送距離に関する指標（建築物ウッドマイレージ）を算出する方法について、再現性があり客観的な計算手法を示すマニュアルを作成し関係者が誰でも算出できるような環境を整える」として、建築物ウッドマイレージ、建築物ウッドマイレージCO<sub>2</sub>、流通把握度など4つの指標を提案しています。2年前に公表された暫定版をその後の意見公募などの手続きを経て改訂したものです。

ウッドマイルズは2004（平成16）年度「ウッドマイレージCO<sub>2</sub>を組み込んだ京都府産木材認証制度」がスタートするなど都道府県での地域材の利用推進のためのツールとして普及しつつあります。今後は、「ひろくウッドマイルズに関する情報を普及するため、ホームページ、パンフレット、ポスター等の情報発信ツールの抜本的な改良を図るとともに、地域材の推進を図る自治体・木材業界関係者、建築物の環境負荷に関心を持つ建築設計関係者を中心にネットワークの形成と普及につとめる。」としています。

また、「新たに、海外への情報発信として、カナダ、東京にて開催される2つの国際学会での報告内容などを骨子として、シンポジウムを開催し、ホームページの英語サイトを作成するなど、海外のネットワーク形成を図る。」としています。

ウッドマイルズ研究会事務局  
(tel)0575-35-0259 (e-mail)info@woodmiles.net  
滝口泰弘

ウッドマイルズ研究会が行うセミナー・講習会

名称	対象		趣旨
ウッドマイルズ入門セミナー	一般	6月各地	ウッドマイルズとその背景および研究会活動についての一般的な理解を得、普及をはかる。
ウッドマイルズ地域材セミナー	自治体職員、木材森林業界関係者	7月21 - 22日 京都府	に加え、地域材利用推進にとっての実践的な意義や理解を深める
ウッドマイルズ技術者講習会	建築関係者など	11月岐阜県美濃市 随時	に加え、ウッドマイルズ関連指標算出マニュアルの内容について理解し、ウッドマイルズ研究会によって認定された技術者として必要な知識を得る。

# 2005 年度総会報告

## 2005 年度総会が開催されました

6 月 11 日(土)に、厚生会職員会館「かもがわ」(京都市)にて 2005 年度総会が開催されました。正会員 11 名の出席と 14 通の委任状をいただき、定足数(会員総数 43 名のうち過半数)を満たし開会しました。熊崎会長より、ウッドマイルズの今後の展開を期待する挨拶がありました。挨拶のあとに審議事項に入りましたが、第 1 号議案、第 2 号議案、第 3 号議案とも全会一致で承認されました。また、研究会の新しい 2 つの規程策定の報告も行われ、無事総会は閉会しました。

午後は、「ウッドマイルズセミナー 2005 in 京都」が開催されました。31 名の参加があり、京都議定書が発効された京都の地で、ウッドマイルズに関する理解を深めました。セミナーの詳細は「ニュースレター木のみち第 8 号」をご覧ください。

### 【議事次第】

1. 開会の挨拶
2. 議長・議事録署名人の選任
3. 議案事項
  - 第 1 号議案：2004 年度事業報告及び収支予算について
  - 第 2 号議案：2005 年度事業計画及び収支予算について
  - 第 3 号議案：2005 年度役員の選任の件
4. 新規研究会規程報告
5. 閉会



The Wood Miles Forum  
ウッドマイルズ研究会

<http://woodmiles.net>

以下に総会議案書抜粋版を掲載します。当日配布資料をご希望の方は事務局までご連絡下さい。(研究会HPでのダウンロードも可能です)

## 第1号議案

### 2004 年度 事業報告、収支決算について

2004 年度は、研究会の通年の活動を行った最初の年でした。指標の改良やセミナー、調査研究など、様々な事業に着手しました。研究会の組織は2005 年 3 月 31 日現在で、以下の通りです。

顧問 / 18 名

正会員 (個人) / 35 名 (うち役員 6 名)

正会員 (法人) / 9 社

賛助会員 (個人) 16 名

#### 【事業報告】

##### 関連指標及びツールの開発事業

03 年 9 月「住宅ウッドマイルズ関連指標算出マニュアル (暫定案) Ver.2003」公開以降、各方面の方々からの協力を頂き、04 年 7 月「建築物ウッドマイルズ関係指標算出マニュアル Ver.2004 (改訂検討案)」を公開し意見公募を行いました。その後、応募意見、技術委員、運営委員などの意見をふまえ、「建築物ウッドマイルズ関係指標算出マニュアル Ver.2005」公開の準備が整いました。(別添「資料 2 P3~」をご参照下さい)

##### 普及及びネットワークの形成事業

#### 情報発信ツールの整備

ニュースレター木のみちを、以下の通り編集配信しました。

第 4 号 (2004/6/2) 275 部配信 / 第 5 号 (2004/8/9) 300 部配信 / 第 6 号 (2004/12/12) 300 部配信 / 第 7 号配信 (2005/2/28) 325 部配信

それに併せてホームページの改訂を行いました。アクセス件数は約 6000 件に増加しました。

#### セミナー

岐阜 (2004/4/24: 参加者 18 名) 京都 (2004/7/26 ~ 7/27: 参加者 55 名) での 2 回のセミナー開催及び各講演会等により、特に自治体の地域材振興を中心に、ウッドマイルズ概念およびツールの普及が図られました。京都府では、制度設計に協

力した「ウッドマイレージ CO2 を組み込んだ府内産木材認証制度」が、2005 年 2 月にスタートしました。(別添「資料 3」をご参照下さい)

#### 講演会・展示会

下記の講演会・展示会にて、ウッドマイルズの普及活動を行いました。

- ・森林の市出展 (2004/5)
- ・長野県木質バイオマスエネルギーが地球を冷やす連続シンポジウム (2004/10)
- ・奈良県木材青壮年団体連合会協議会 (2004/12)
- ・鹿児島県農林技術中央研修会 (2005/1)
- ・甲賀地域振興局講演会 (2005/2)

#### 情報収集調査研究事業

建築物ウッドマイルズ関連指標の制度を高める研究として、第一にロシア材の輸送距離、輸送実態についての研究成果が研究ノート (その 3) として公表されたほか、第二に建築物の平均的なウッドマイレージに関する研究として、日本に流通する製材輸送距離に関する研究が、環境経済・政策学会大会で関連研究が発表され、研究ノート (その 4, 5) にも公表されました。

また、ウッドマイルズに広がりを与えるための調査研究として、第一に国内のウッドマイルズ平均値等についての調査研究が進められ、第二に我が国のウッドマイルズの取り組みを海外に紹介すべく、2つの国際学会への報告の準備が行われ投稿報告案が受諾されました。

#### 環境経済・政策学会大会報告

(別添「資料 4」をご参照下さい)

#### ウッドマイルズ研究ノート (1) ~ (5)

[http://woodmiles.net/note/note\\_index-.htm](http://woodmiles.net/note/note_index-.htm)

#### 建築材料世界会議

<http://www.civil.ubc.ca/conmat05/>

#### サステナブル建築世界会議

<http://www.sb05.com/>

#### 【収支決算】

様々な事業がスタートしましたが、会員数が伸び悩み、単年度収支では、若干赤字となりました。(7 頁をご参照下さい)

## 第2号議案

### 2005 年度 事業計画、収支予算について

研究会も発足後 2 年が経ち、様々な事業に対する基盤が整ってきました。2005 年度は、情報発信ツールの改良や国際会議への参加発表など、各事業について本腰を入れて取り組みます。

また、研究会の運営を持続していくためには、現在の会員数を**倍増**する必要があります。今年度も会員の皆様の積極的なご参加とご協力をお願いします。

#### 【事業計画】

##### 関連指標及びツールの開発事業

研究会のマニュアル更新規程に順じた、暫定版でない初めてのマニュアル、「建築物ウッドマイルズ関連指標算出マニュアル Ver.2005」を公開します。その後、研究会で認定した「ウッドマイルズ関連指標算出技術者」などにより多くの建築物の評価結果などデータ収集を行い、マニュアルの改善点等を抽出します。

##### 普及及びネットワークの形成事業

##### 情報発信ツールの整備

ひろくウッドマイルズに関する情報を普及するため、ホームページ、パンフレット、ポスター等の情報発信ツールの抜本的な改良を図るとともに、地域材の推進を図る自治体・木材業界関係者、建築物の環境負荷に関心を持つ建築設計関係者を中心にネットワークの形成と普及につとめます。

また、これまでの研究会の成果などをまとめた小冊子「ウッドマイルズハンドブック（仮称）」の編集発行も行います。

##### セミナー・講習会

地方自治体や地域の木材業界森林団体など地域材関係者に対しては、7月に予定されているウッドマイルズ地域材セミナーなどを中心に、京都で取り組まれている「ウッドマイレージを組み込んだ京都府産木材認証制度」など、各地で行われている取り組みを通じて交流をはかるとともに、「大型木造公共建築物のウッドマイルズ評価」

（後述）の結果をふまえ、各地のシンボルとなる建築物の評価事例を積み重ねるほか、引き続きセミナーや各地講演会により普及活動を行います。

建築関係者については、ウッドマイルズレポート（後述）や、ウッドマイルズ関連指標算出技術者対象の講習会などを主軸に普及を行います。

今年度のセミナー・講習会の詳細は 4～5 頁をご参照下さい。

##### ウッドマイルズレポート

建築業者や自治体の提供する建築物のウッドマイレージ値を計算し、ウッドマイルズという概念や意義の解説、ウッドマイレージ値の評価などを含めた小冊子データ（ウッドマイルズレポート）の本格的な整備、発行を行います。

##### 国際会議参加発表

海外への情報発信として、カナダ、東京にて開催される 2 つの国際学会（後述）での報告内容などを骨子として、シンポジウムを開催し、ホームページの英語サイトを作成するなど、海外のネットワーク形成を図ります。

##### 情報収集調査研究事業

建築物のウッドマイルズ関連指標の精度を高める調査研究として、輸入材：国産材の輸送距離、二酸化炭素排出原単位、を中心として、引き続き研究を進め「研究ノート」を作成、公開します。

また、ウッドマイルズに広がりを与えるための調査研究として、大型木造公共建築物のウッドマイルズ評価に引き続き取り組み、関連指標の普及ツールとして各方面にインパクトを与える報告を行います。さらには、国際的な学会に、建築物の環境評価手法としてのウッドマイルズ関連指標の開発と普及の状況について報告するとともに、海外へのネットワークを通して海外の類似の取り組みに関する情報収集を行います。

##### 【収支予算】

様々な事業に応じて各種助成が決定しました。会員数の倍増を目標に予算規模を 540 万円程度に設定しています。（8 頁をご参照下さい）

## 【事業実施体制】

2005 年度は各事業とも、下記の担当運営委員、事務局スタッフのもと、会員その他の事業参加を促し、事業実施を遂行します。会員の皆様の積極的な参加をお待ちしております。

( . 関連指標及びツールの開発事業)

/ 藤原代表運営委員

( . 普及及びネットワークの形成事業)

情報発信関係事業 (ホームページ・パンフレット・ポスター・ニュースレター)

/ 事務局 (滝口、坂崎)

地域材関係自治体等普及関係事業 (セミナー他)

/ 藤原代表運営委員、白石運営委員

建築関係者、一般市民普及関係事業

(ウッドマイルズレポート他)

/ 野池運営委員、三澤運営委員

国際的情報発信関係事業 (国際会議)

/ 藤原代表運営委員

( . 情報収集研究事業)

指標の精度向上調査研究 (研究ノート)

/ 藤原代表運営委員

広がりを与えるための調査研究

(公共木造施設評価)

/ 野池運営委員、三澤運営委員

## 第3号議案

### 2005 年度 役員の選任の件

2005 年度ウッドマイルズ研究会役員は以下の通り決定しました。

会長 / 熊崎 実

( 岐阜県立森林文化アカデミー学長 )

代表運営委員 / 藤原 敬

((社)全国木材組合連合会 / 全国木材共同組合連合会常務理事)

運営委員 / 白石 秀知

( 京都府農林水産部林務課林業普及指導員 )

運営委員 / 野池 政宏

( 住まいと環境社代表 )

運営委員 / 三澤 文子

( 岐阜県立森林文化アカデミー教授 )

監 事 / 辻 充孝

( 岐阜県立森林文化アカデミー助手 )

監 事 / 安藤 直彦

( 京都大学大学院修士課程 )

## 新規研究会規程

以下の2つの規程が新たに制定されました。

1. 「ウッドマイルズ関連指標及びツールの更新規程」(別途「資料2」をご参照下さい)

ウッドマイルズ関連指標の更新規程を正式に定め、指標の制度と透明性の向上を図ります。

2. 「ウッドマイルズ関連指標算出技術者の認定規程」(別途「資料2」をご参照下さい)

ウッドマイルズ関連指標を正確に理解し、研究会によって認定された算出値を公表できる技術者を認定し、ウッドマイルズのさらなる普及を図ります。

## 活動予定

### 2005 年度 セミナー・講習会

#### 【ウッドマイルズ入門セミナー】

とき / 6 月 11 日 (土) 13:00 ~ 17:00

ところ / 厚生会職員会館「かもがわ」(京都市)

ウッドマイルズが切り拓く循環社会

藤原敬 (ウッドマイルズ研究会代表運営委員)

算出マニュアルの改訂とウッドマイルズレポート

滝口泰弘 (ウッドマイルズ研究会事務局長)

京都府産木材認証制度の取組

白石秀知 (ウッドマイルズ研究会運営委員)

盛況に開催、終了致しました。



【ウッドマイルズ地域材セミナー】

とき / 7 月 21 日 (木) ~ 22 日 (金)

ところ / 京都府西別館会議室 (予定)

対象者 / 自治体職員、木材森林業界関係者  
(以下予定)

21 日 (木) 13:30 ~ 16:40

・ウッドマイルズは何を明らかにするのか  
藤原敬 ((社) 全国木材組合連合会・全国木材  
共同組合連合会常務理事/ウッドマイルズ研究  
会代表運営委員)

・ウッドマイルズの算出方法と事例  
滝口泰弘 (NPO 法人 WOOD A C 代表理事  
/ウッドマイルズ研究会事務局長)

・ウッドマイレージ CO2 を組み込んだ京都府産  
木材認証制度の取組  
白石秀知 (京都府農林水産部林務課林業普及指  
導員/ウッドマイルズ研究会運営委員)

・意見交換会

・交流会 (18:00 ~ 20:00)

22 日 (金) 9:30 ~ 12:00

・地域材を使って森を守る事例報告

山の立木を購入して取り組む家づくり  
(滋賀県) / 大津の森の木を使って家をつくる会  
(株) 坂田工務店 坂田徳一氏

環境貢献度で山の立木を販売するサウンドウ  
ッズ (兵庫県) / (有) ウッズ 能口秀一氏  
地域材を使って森林を守る府民運動  
(京都府) / 京都・森と住まい百年の会 (企業  
組合) もえぎ設計 田村宏明氏

・意見交換会

【ウッドマイルズ技術者講習会】

とき / 7 月 19 日 (土) ~ 20 日 (日)

ところ / 岐阜県美濃市 (予定)

対象者 / 建築関係者など

ウッドマイルズ関連指標算出マニュアルの内容  
について理解を深め、ウッドマイルズ研究会によ  
って認定された技術者として必要な知識を得る。

上記のセミナー・講習会の詳細なご案内は追  
ってお知らせします。参加希望、質疑などはお気  
軽に事務局までご連絡下さい。

**国際会議参加発表**

ウッドマイルズ研究会では、これまでの研究の  
成果を以下の 2 つの国際会議で発表します。国際  
会議の様式や発表内容等については、ホームペー  
ジやニュースレターにて、随時報告します。

1. 建築材料世界会議

ComMat 05-  
Construction Materials (8/22 ~ 8/24 バンクーバー)  
<http://www.civil.ubc.ca/conmat05/>

建築物のライフサイクルエネルギー削減への  
新しい取組として、ウッドマイルズ概念および  
指標、取組を発表。

2. サステナブル建築世界会議

S B 05 Tokyo-  
The 2005 World Sustainable Building Conference  
in Tokyo (9/27 ~ 9/29 東京)  
<http://www.sb05.com/>

新しい建築環境評価ツールとして、ウッドマイ  
ルズ概念および指標、取組を発表。

**ウッドマイルズ関連指標算出マニュアル Ver.2005**

誰でもウッドマイルズ関連指標を算出できる  
ような環境を整えるため、発足直後の 03 年 9 月  
に「住宅ウッドマイルズ関連指標算出マニュアル  
Ver.2003 (日本版暫定案)」を発表しました。ま  
た、その後、より信頼性のある公平なマニュアル  
づくりを目指すため「ウッドマイルズ関連指標お  
よびツールの更新規程」を策定し、技術委員会の  
審議やパブリックコメントなどの過程を経るな  
どの手続きを定めました。今回、いろいろなお意  
見をふまえ、その手続きに従った最初のマニユ  
アル「建築物ウッドマイルズ関連指標算出マニユ  
アル Ver.2005」の作成が完了し、公開に至りました。

改訂の概要については、以下のとおりです。

**住宅ウッドマイルズから建築物ウッドマイルズ**

マニュアルの対象を住宅から建築物へ拡大し、  
表題を変更しました。

**「ウッドマイルズ関連指標およびツールの更新規定」**

より信頼性のある公平なマニュアルづくりを

目指すため、「ウッドマイルズ関連指標およびツールの更新規定」を策定しました。公表されるマニュアルの改訂にあたっては、一定の順序を踏むことを定めたものです。

#### 「ウッドマイルズ関連指標算出技術者の認定規程」

ウッドマイルズ関連指標算出マニュアルによって導き出される指標について、正確かつ平等に評価を行うため、研究会の講習により一定の算出技術を取得した方に対して認定を行う「ウッドマイルズ関連指標算出技術者の認定規程」を策定しました。認定者によるウッドマイルズ関連指標の算出結果は、研究会が認定した数値として公表されます。

#### 「流通把握度」の整理

ウッドマイルズ関連指標の算出にあたって、木材流通のあいまいな把握に正確性を求めるべく、正確に把握している部分と、あいまいな部分とを明確に分け、その割合により一つの評価を与える「流通把握度」を規定しています。旧マニュアルでは、この割合の把握を、木材の量（材積）とウッドマイレージ（材積×輸送距離）の2種によって区別していましたが、ウッドマイルズ算出において、木材の量のみでの把握度は不必要であるという見解のもと、ウッドマイレージによる把握度のみすることに整理しました。

#### 輸入材輸送距離暫定データ(別表1)の見直し

算出に暫定的に用いることができる輸入材輸送距離暫定データについて、研究会の調査研究の成果を踏まえ、ロシア材の原木輸入距離についての見直しを行いました。

#### 排出CO2原単位(別表2)の見直し

算出に用いる排出CO2原単位（別表2）については、まだ研究途上であることから、今後もマニュアル改訂の主軸になることと予測されます。今回の改訂では、既往データの収集により、特に船舶輸送におけるCO2排出量の原単位を、旧マニュアルの一律 0.0212 kg/m<sup>3</sup>・km から、内航船は 0.02116 kg/m<sup>3</sup>・km、外航バルク船（輸入丸太）の場合は 0.00508 kg/m<sup>3</sup>・km、外航コンテナ船（輸入製品）の場合は 0.01095 kg/m<sup>3</sup>・km、へ細分化

することに至りました。

#### 製品の歩留まり(別表3)の見直し

算出に用いる各製品の歩留まり（別表3）について、旧マニュアルではあいまいであった、合板の歩留まりについて、農林水産省のデータからより明確なものへ見直し、また同出典により、製材の歩留まりについても改訂しました。今回発表する「建築物ウッドマイルズ関連指標算出マニュアル Ver.2005」が、「建築物に使用される木材の輸送距離を短縮し、輸送エネルギーの削減や地域材利用の活性化」を願う多くの方々にご利用され、皆様の活動の推進ツールとして、その力を発揮してくれることと期待しております。

その他、ホームページの改良、ウッドマイルズハンドブック(仮称)の発行、ウッドマイルズレポートの発行など、様々な活動を行いますので、今後とも会員の皆様の、ご支援、ご協力よろしくお願いたします。

#### 年会費の納入について

4月を境に新しい年度が始まりました。今年度の会費の振込みはお済でしょうか。研究会は会員の皆様の会費を活用しながら各種事業の活動を予定しております。会費の納入のみならず、是非、積極的に各事業にご参加下さい。

（振込み先）

十六銀行 美濃支店（普通）1351003

口座名：ウッドマイルズ研究会 会長 熊崎実

郵便振替：00800-9-203541

口座名：ウッドマイルズ研究会

お問い合わせ先 / 2005 年度総会報告編集  
ウッドマイルズ研究会事務局  
〒501-3722 岐阜県美濃市常盤町 2275-1  
(TEL)0575-35-0259 (FAX)0575-35-3599  
(E-mail)info@woodmiles.net  
(URL)http://woodmiles.net